

棚底城跡、注目度の高さ再確認!

国指定史跡棚底城跡指定10周年記念シンポジウムが11月9日(土)天草市民センターで開催され、地元倉岳を含む沢山の参加者で会場は立錐の余地もない程大盛況だった。

中村市長の主催者挨拶に続いて棚底城通信でもおなじみの市文化課、宮崎学芸員から棚底城跡の概要についてこれまでの経緯や現在および今後の整備・活用状況など説明があった。

基調講演では、「文献史料からみた棚底城跡」と題して戦国天草最大の激戦地・棚底城をめぐる上津浦・栖本・相良氏の関係について熊本大学永青文庫研究センター長、稲葉先生が「八代日記」などの古文書史料からも解いて解説された。

次に「考古学からみた棚底城跡」と題して棚底城の構造と特徴について北部九州中近世城郭研究会、鶴崎先生が棚底城の遺構から分かった野首の三重横堀、北斜面の直線横堀、派生尾根先端の堅堀群は他の天草の城郭では見られない重厚な縄張りとして特色があると講演された。

それからパネルディス

カッションがあり、「棚底城跡の整備と活用方法を考えよう」とコーディネーターの熊本大学、名誉教授山尾先生と6名のパネリストがそれぞれ専門的な立場から建設的な討論を交わされた。

また、パネリストの一員として参加された、天草市文化財保護審議員の歳川喜三生氏と棚底地区振興会稲津会長が地元史家と棚底地区代表の立場から史跡の整備やガイダンスなどの必要性を要望された。併せて天草で最も古い年号延文三年(1358年)が刻まれた墓石が存在する大権寺の歴史的価値を評価し、市指定に検討すべきと提言された。

今回のシンポジウムを通じて改めて中世の山城、棚底城跡が幅広く注目されているのが再確認できた。



△パネリストの先生ら=右二人が歳川、稲津氏

～シンポジウム大盛況～

11月10日に開催した国指定史跡棚底城跡指定10周年記念シンポジウム「天草が誇る戦国の城跡～棚底城跡の魅力を活かす～」は約200名の方々にお越しいただきました。より良い整備ができるよう、より一層頑張ります。よろしくお願いします。(天草市文化課 宮崎)



←シンポジウムの様子



植栽中の部会員=振興会花壇



10月31日(木)午後1時から振興会花壇に天草市都市計画課から配布されたハボタンとナデシコを植えました。急な呼びかけにも関わらず健康福祉部会員ら15名に手伝っていただきご覧のとおり見事な花壇となりました。

今月の人口

高齢化率 48.31%

人口動静

	世帯数		人口	
	9月末	10月末	9月末	10月末
浦	280	280(0)	658	656(-2)
棚底	485	485(0)	1,098	1,096(-2)
宮田	443	444(+1)	968	970(+2)
合計	1,208	1,209(+1)	2,724	2,722(-2)

主な行事予定

- 12月1日(日)倉小持久走・倉っ子フェスタ
- 12月8日(日)倉中・倉岳校持久走大会
- 12月24日(火)防犯パトロール
- 令和2年1月3日(金)倉岳町成人式

(予定のため変更になる場合あり)